

- 1、視察日程 平成27年10月22日 13:00から14:30
- 2、視察先及び視察事項 千葉県香取市 子育て創生事業「かとり縁結び大作戦」について
- 3、参加者 委員長 本多丞次
副委員長 神野義孝
委員 大窪民主 杉山護 山崎春俊 斎藤誠 高木理文
当局職員 田代一樹（企画部長）
議会事務局 増田準一（議会事務局長）

4、視察内容

(1) 目的

総務委員会は「人口の増える街づくり」を本年度の年間テーマとし、その問題に取り組んでいる行政の施策等の調査研究を行う。

(2) 内容

全国的にも社会的懸案事項である晩婚化、非婚化が近年叫ばれ、御殿場市においてもその問題を抱えている。そのような中、千葉県香取市は行政が一緒になって様々な事業を行っている。補助としては県事業補助金を活用してスタートし、以降は市で予算化をして事業継続している。出会いの場やその情報の提供、民間との協力体制など参加者の立場に立った事業を行い、その具体的な内容は講演会のほか 商工会、青年会議所、JA、飲食店、企業などと組んで体験型イベント「農業体験、アクティビティー体験、食の体験、神社散策、パーティーイベント体験」など様々。ただイベントを行うだけでなくルールやマナー、禁止事項をしおりに明示して大人としての節度、モラルも身につけていただくように心がけている。

参加者は、登録制で男性は原則として市内在住または在勤者。女性は制限なし。もちろん独身者に限る。

将来的には民間等外部委託も検討している。

(3) 考察

イベントにおいてのカップル率と、結婚率では差があることがうかがわれこれらの差をいかに縮められるかが今後の課題である。

昔のように「世話焼きさん」と言われた人材を復活させて活用し成婚率向につなげていくことを模索すべきと思われる。

結婚しても安心して生活ができる、働き先がある、子育ての問題、高齢化社会問題等様々な問題を解決することが自治体には必要だと実感した。

平成27年10月23日
総務副委員長
神野義孝

総務委員会行政視察成果報告

1 日時

平成27年10月22日(木) 13:00~14:30

2 視察テーマ 子育て創生事業「かとり縁結び大作戦」について

3 視察先

千葉県香取市

4 成果内容

(1) 全般

当市の人口は、算裕介氏の「人口減少×デザイン」によると、2020年頃をピークに減少を始め、45年後の2060年は現在より15,000人減少すると予想されている。また、現在、若年層有配偶率(男子)は5割を割っている。少子化・人口増対策、若者の定住促進対策として婚活は重要な課題である。御殿場市の婚活施策の資とするため、千葉県香取市の婚活事業について当局から説明を受け、活発な意見交換を行った。

(2) 事業の概要説明、

ア 事業の目的

晩婚・非婚となっている若者に対し、出会いの場の提供や情報提供など、縁結びの支援を行うことにより、婚姻・出生数の増加を図り、活力あるまちづくりを進める。

イ 事業の内容

- ・対象者：結婚に意欲のある20歳以上の独身の男女(登録制)。男性は、原則として市内在住、または在勤者。女性は制限なし。
- ・実施主体：商工会やJAなど若手後継者や市の関係職員で構成する「かとり縁結び実行委員会」が実施主体となり、企画政策課が事務局となりバックアップしている。
- ・一般的なイベントの内容：お見合い形式：1対1で、10分~15分の会話(男女各10人程度)
パーティー形式：フリータイム中心(男女各20人~30人程度)

ウ 会費等

入会金や年会費等の会費なし。婚活イベント参加時に、飲食代等の実費相当の会費を徴収する。

エ 成果

会員同士の成婚で事務局に報告があった数：21組
イベントカップル成立数：216組

(3) 質問及び回答

ア 実施要領について

質1 参加者対象者のうち男性のみ「市内在住」の条件を付している理由について

回1 本事業により得られる効果が、当市の婚姻・出生数の増加を図り、地域の活性化を図るものであることから、男性については市内在住とした。女性については、当市の女性未婚者数が男性に比し、大幅に少ないことから、市内外を問わないとした。

質2 参加者負担金の有無について

回2 飲食代金等の実費相当分のみ参加者負担金として徴収。女性は男性より500円～1000円安価に設定

質3 実行委員会構成メンバーの既婚・未婚の別と男女別の比率について

回3 平成27年度実行委員会は、委員13名中女性は1名、半数弱が未婚者である。

質4 他の任意団体等で実施している婚活事業との棲み分けについて

回4 現在のところ、市内で婚活事業をしている他の任意団体はない。今後、そのような場合は、ケースバイケースで対応する予定。

質5 平成23年度に国庫補助金1,350万円あったが、事業名は何か。

回5 千葉県安心こども基金事業

質6 開催要領は宿泊を伴うのか、単日（日帰り）で実施か。

回6 単日で実施している。

質7 細部実施要領、特に進行要領等について

回7 イベントの企画進行は、①企画の検討、②実行委員会の承認、③イベントの調整、④イベントの告知（約2ヶ月前）、⑤イベント募集（約1ヶ月程度）、⑥イベント準備、⑦イベント前日、⑧イベント当日に分けて参加者の婚活がわからないよう、また定員に近づくよう、参加者に理解納得してもらえるように配慮している。

質8 年間のイベント数と、1回当たりのイベント参加者数について

回8 月1～2回程度の頻度、年間20回程度行っている。イベント参加人数は、イベントの規模によるが、通常定員は男女各10名～30名程度で行っている。

質9 イベント時アドバイスがあれば成果が上がると思うが、何か行っているのか。

回9 参加者にアドバイスすれば成果が上がると思うが、現在は特に行っていない。

質10 婚活を踏み込んでホローする人、場所が必要であると思うが、検討しているか。

回10 おばさんボランティア等サポーター事業があるが、まだ浸透していない。婚活の成功は20代、30代が高い。本事業は軌道に乗ったばかりである。

質11 参加者に配布しているしおりは、婚活にあたって必要な配慮事項が記載されているが、誰が作成したのか。

回11 50代の女性のベテランスタッフが作成した。

イ 成果について

質1 香取市内未婚者に対する会員数の比率について

回1 未婚者数（30代・40代）に占める市内在住会員登録率は5.9%（男性7.6%、女性5.4%）、年代別では30代・40代の会員数が約85%を占める。

質2 事務局を市に設置し、婚活事業を立ち上げるにあたっての障害事項について

回2 障害は特になく、本市の場合、事業立ち上げ時には必要であった。

質3 婚活事業に対する市民の反応について

回3 市が関与しているという安心感や全体的に安価な参加費のため、好評と考えている。平成27年度市民アンケートでは、事業の周知度は53%であり、結婚を支援するために行政が取り組むべき事業について、安定した雇用の確保74%に次いで、婚活イベントなど出会いの場の提供が38%となった。

質4 婚活事業の実績推移について

回4 会員より、本市の婚活事業により入籍に至ったと報告があった件数
平成24年度4組（32組）、平成25年度10組（51組）
平成26年度6組（62組）、平成27年度1組（39組）10/1 現在
※（ ）内は、イベントカップル成立数

ウ 今後の方向性

質1 婚活事業の今後の方向性と成婚カップルに対する支援について

回1 立ち上げから5年目となり、現在、事業の外部委託等の可能性について検討中。結婚の報告に来たカップルには、花束等の贈呈を行っている。

質2 婚活事業の課題と対応について

回2 イベント型婚活の場合、見た目や若さ等で相手を選ぶため複数回参加してもマッチングしないケースが多い。また、イベントでマッチングしても結婚に至る割合は少ないため、成果を出すのが難しい事業と考える。また、イベント申込み人数で、女性が定員に満たないイベントが多く、女性が参加しやすいイベントを企画することが課題である。更に、新規会員獲得のための周知が課題である。

エ その他

質1 定住促進策として、出会いの場の創出だけでなく、働く場があることや、子育て支援制度が充実していることも必要と考えるが、香取市の状況はどうか。

回1 質問のとおりと考えます。市では担当部署が、企業誘致等働く場所の確保や子育て支援策の充実等、総合的な定住促進策を進めている。

香取市における行政視察の状況

当局からの説明状況（全般）



当局からの説明状況（企画政策課）



当局と議員との意見交換状況



当局と議員との意見交換状況



平成27年度 御殿場市議会総務委員会 後期行政視察報告書

報告者氏名： 高木理文

1 視察日程

平成27年10月22日（木） 午後1時から2時30分まで

2 視察先及び視察事項

千葉県香取市

子育て創生事業「かとり縁結び大作戦」について

3 参加者

委員長 本多 丞 次

副委員長 神野 義 孝

委員 高木 理文 杉山 護 大窪 民主

山崎 春俊 斉藤 誠

当局職員 田代 一 樹（企画部長）

事務局 増田 準 一（議会事務局長）

4 視察内容

(1) 目的

総務委員会は「人口の増える街づくり」を年間テーマにして視察を行ってきたが、今回は結婚の意欲があるにもかかわらず、晩婚や非婚になっている若者に対して出会いの場の提供や結婚に関する情報提供などを行い「縁結び」の支援を行政がかかわって行っている事例を視察させていただくことで、今後の当市における婚活支援事業や定住促進策への参考にさせていただく。

(2) 内容

縁結び支援を行うことで、婚姻・出生数の増加を図り、活力あるまちづくりを進めることを目的に平成23年9月に千葉県安心子ども基金事業費補助金（1350万円）を活用してスタートした。その後は市費単費で330万円余の予算を確保して継続している。

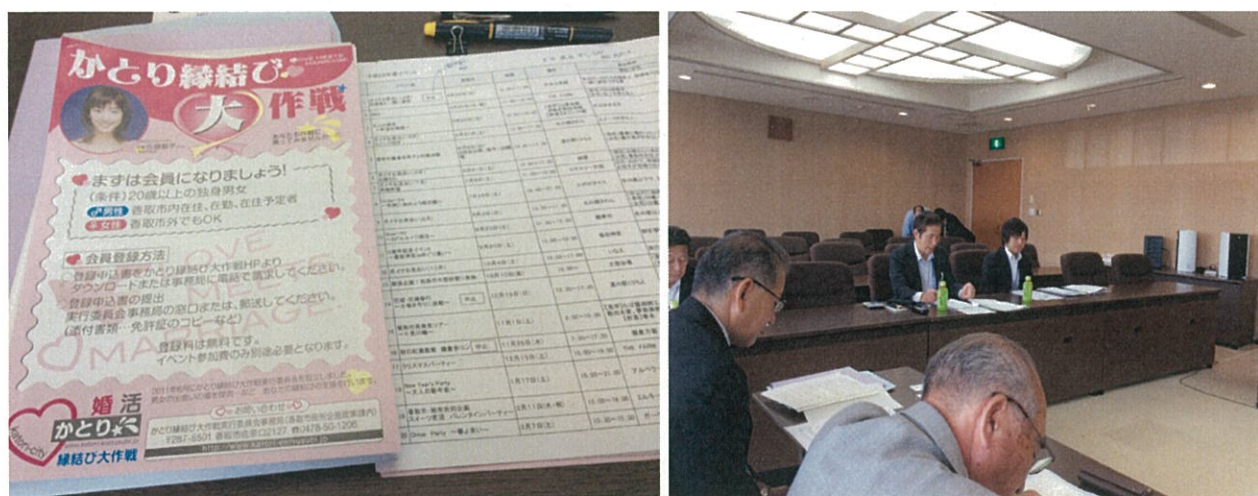
結婚の意欲のある20歳以上の独身男女を対象に登録制で実施。女性に制限はないが、男性は市内在住、在勤者となっている。

実施主体は「かとり縁結び実行委員会」で、事務局を市の企画政策課が務め、実行委員会は商工会議所青年部、商工会青年部、青年会議所、J A、香取市人口減少対策庁内検討チームで構成されている。

事業は年間通じて月 1～2 回のイベントを実施。農業体験やレガッタ体験などのイベントやセミナー、講演会などを開催して未婚者の縁結びを支援する。お見合い形式やパーティー形式で運営されイベントの最後に好意を持った相手に自分の連絡先を記入したカードを事務局を介して渡す方法によりカップリングを実施している。カップリングの成立数は昨年度 62 組。平成 24 年度から今年度までの成婚数は累計 21 組。

会員は会費不要。イベントの参加実費のみ。会員数は男性 356 人、女性 273 人。合計 629 人。その内市内在住者は 380 人。市外在住者は 249 人。

5 年目を経過して今後は事業の外部委託も検討している。



(2) 考 察

成婚に至ったケースはほとんどが 20～30 代ということで晩婚のケースでは課題があると報告されていた。また、マッチングできても結婚に至る割合が少ないため、成果につなげるのが難しい事業である。事業開始以降のマッチングカップル成立数は 10 月 1 日現在で 216 組あるが、成婚数は 21 組である。

お嬢さん募集イベントなども実施されているようで市のスタッフも若い方が担当していた。今後は年配の「世話焼きさん」のような人材を活用してマッチングカップルを成婚につなげていくことを模索していた。

当市では社会福祉協議会が婚活事業を委託されて行っているが、香取市の事例は行政のかかわり方として参考になった。

一方、現在の若者の結婚観の変化では片づけられない問題がある。大学を出ても正規社員になれず、非正規労働者が増加、固定化されていく今の社会構造は低賃金による生活格

差を生み出している。生活苦から結婚したくても結婚できず、子どもも産めない状況をつくり出している。ここに目を向けなければ根本的な解決にはつながらない。

企業誘致等による働く場の確保だけでなく、処遇の改善が無ければ将来を見通した生活設計などできないのではないかと考える。さらに制度面で行政が子育てしやすい環境を作り出すことは不可欠である。ここは婚活事業と並行して進めるべき課題である。

以上

平成 27 年度 御殿場市議会総務委員会 後期行政視察報告書

報告者氏名 大塚 民主

1 視察行程

平成 27 年 10 月 22 日(木) 午後 1 時から 2 時 30 分まで

2 視察先及び視察事項

千葉県香取市

子育て創生事業「かとり縁結ぶ大作戦」について

3 参加者

委員長 本多 丞次

副委員長 神野 義孝

委員 高木 理文 杉山 護 大塚 民主 山崎 春俊
斉藤 真

当局職員 田代 一樹(企画部長)

事務局 増田 準一(議会事務局長)

4 視察内容

(1) 目的

千葉県香取市の子育て創生事業(かとり縁結び大作戦)を視察し、御殿場市の
子育て(縁結び)について参考とする。

(2) 内容

事業の目的、婚活支援事業を導入するに至った経緯と導入までの方法、実施
主体、実施方法、予算、導入から現在までの実績、事業の課題等

(3) 考察

人口減少対策・少子化対策・若者の定住促進を課題とし、千葉県安心こども
基金事業補助を受け平成 23 年度から婚活実行委員会(商工業・農業団体十
庁内関係課)の 30 代を中心とした若手メンバーで実施、平成 27 年 4 月 1 日
までに成婚カップル 20 組・子ども 4 人誕生、婚約 1 組、マッチングカップル
177 組の成果があった。

御殿場市も社会福祉協議会主体による事業は実施しているがその実態は定
かではない。市当局が関与し積極的に関与し進めるべきである。そのことによ
り晩婚・非婚を防ぎ、かつ人口減少・少子高齢化に貢献できるものと思う。年
ごとの成果は僅少でも長く続けていくことが必要である。

平成27年度 御殿場市議会総務委員会 後期行政視察報告書

報告者氏名：杉 山 護

1 視察日程

平成27年10月22日（木） 午後1時から2時30分まで

2 視察先及び視察事項

千葉県香取市

子育て創生事業「かとり縁結び大作戦」について

3 参加者

委員長 本 多 丞 次

副委員長 神 野 義 孝

委 員 高 木 理 文 杉 山 護 大 窪 民 主

山 崎 春 俊 斉 藤 誠

当局職員 田 代 一 樹（企画部長）

事務局 増 田 準 一（議会事務局長）

4 視察内容

(1) 目 的

総務委員会は、本年度の年間研究テーマを「人口の増えるまちづくり」として、調査・研究を行っている。

近年、晩婚化や非婚化が大きな社会問題となる中、結婚する意思のある若者に対し、出会いの場の提供や結婚に関する情報提供などを行う、いわゆる「縁結び」の支援に行政が関わるといった事例があった。

そこで、平成23年10月から子育て創生事業「かとり縁結び大作戦」を実施している先進地、千葉県香取市を視察することにより、本委員会の年間研究テーマ「人口の増えるまちづくり」への参考とする。

(2) 内 容

- ① 月1回から2回程度の頻度で、お見合い形式とパーティー形式のイベントを開催しており、かなりタイトである。
- ② 農業体験、陶芸教室等によるイベント開催については、変化に富んでいる。
- ③ 市民アンケートによる縁結び婚活事業の周知度53%は、高水準である。
- ④ 平成23年9月に事業がスタートし、これまでに入籍が21組、イベントカップル数が216組である。
- ⑤ 婚活事業を外部に委託することも一案として検討している。

(3) 考 察

- ① イベントカップル数・カップル成立数と、入籍に至った件数（21組）とは大きな隔たりがある。今後は、カップルが誕生したことに重点を置き、結婚までに結びつける点に力をいれるべきだと感ずる。
- ② 生活環境として、子育てや働く場等、生活条件も併せてアピールできる環境づくりが必要と感じる。
- ③ 今回視察して、縁結びの困難さと、地道な活動と地域の人との協力の必要性を強く感じた。

1. 視察日程

平成 27 年 10 月 22 日（水） 午後 1 時から 2 時 30 分まで

2. 視察および視察事項

千葉県香取市

子育て創生事業「かとり縁結び大作戦」について

3. 参加者

委員長 本多丞次

副委員長 神野義孝

委員 高木理文 杉山 護 大窪民主

山崎春俊 斎藤 誠

当局職員 田代一樹（企画部長）

事務局 増田準一（議会事務局長）

4. 視察内容

(1) 目的

少子高齢化、人口減少は、どこの自治体にとっても共通の課題であり、それぞれ特色ある施策が講じられてきたが、実際にその成果を上げるには、どこの自治体も困難を極めているのが現状である。

本市においても、先刻承知の通り人口は、かろうじて 8 万 9 千人強を推移している。自治体にとって、人口減少は税収減と同時に住民サービスを低下させ、結果として自治体の衰退へと繋がりがねない重大な課題となっている。

このことについての本市の対応や施策は言及に及ばないが、首都圏の外郭自治体は、首都東京への人口の一極集中現象により、人口流出が深刻で、特に東京から約 120 キロメートル離れている香取市は、9 年前には 9 万人いた人口も、現在では 8 万人となり年間約 900 人のペースで減り続けている。

このため、市は、人口減少対策、及び若者の定住促進を図るため、行政が窓口になり、「かとり縁結び大作戦」を推進してきた。

私たち委員会は、この香取市の先進的で斬新的なこの事業を少しでも本市の施策の一助にしたいという目的のもと千葉県香取市を視察することに決した。視察時間は 1 時間 30 分であった。

(2) 内容

香取市役所を訪問したのは、午後の12時45分を過ぎた頃で、玄関先に当局職員が出迎えてくれた。午後1時の開会では、香取市から市議会総務企画常任委員会の高木委員長、本委員会からは、本多委員長のあいさつが行われた。その後、香取市企画政策課、議会事務局職員の紹介が行われ、この中で、永年にわたり本事業に関わってきたベテラン職員（50代の女性）がこの3月に人事異動により転出したことにより、大変な事業を引き継いだと上野主任主事は語った。

研修では、本委員会が事前に提出しておいた質問事項15項目について順次、丁寧な回答とレクチャーがあった。特にその中で、「かとり縁結び大作戦」事業の目的が強調された。要旨は、結婚の意欲があるにもかかわらず、結婚、非婚となっている若者に対し、男女の出会いの場の提供や結婚に関する情報提供など、様々な縁結び支援をし、結婚、出生の増加を図り、活力あるまちづくりをすすめることに目的をおいた、との説明があった。また、事業推進の手法（組織、出会いイベント等）が話され参考になった。

最後に質疑の時間がとられ、本委員会委員より多くの質問が出された。詳細な内容については、香取市当局が作成した別添の資料を参照されたい。

(3) 考察

少子高齢化、人口減少はこの自治体にとっても、共通する大きな課題であり、それを克服するため、様々な特色ある施策や対応が講じられてきたが、実際はその成果をあげるに至っていないのが現状で、道半ばといっても過言ではない。

香取市は、いち早くこれらの課題に向き合い、子育て創生事業「かとり縁結び大作戦」を掲げ市をあげて、この事業を積極的に推進してきたことがよく理解できた。

本事業は、千葉県の補助金100%をうまく活用し、平成23年9月に事業をスタートさせ、この間（10月1日現在）入籍に至ったのは21組（このうち4人の子どもの出生が報告）で、イベントでのカップル成立数は210組であった、との説明を受けたが、成婚へもっていくまでの道のりは厳しく課題もあるようだ。

今後は、この事業にとどまらず、若者の働く場の創出に向けた企業誘致、総合的な定住促進策を推進していかなければならないと思うと、担当職員が語ったところを見ると、100%の補助金を使っての縁結び事業は、私、個人的には、難しい局面に差し掛かってきているのではないかと痛感した。